

IV-40

賢治の作品からみた北上川・イギリス海岸のイメージ連想調査について

岩手大学 正会員 安藤 昭
岩手大学 正会員 赤谷 隆一
岩手大学 ○学正員 佐藤 充弘

1、はじめに

北上川河川環境管理基本計画が、平成2年に「歴史を育む水街道 北上川の水辺にロマンを求めて」をテーマに策定された。そのなかの、花巻・北上ブロックの整備テーマは「イーハトーヴの水辺」と設定されている。このブロックの中心には、岩手の童話作家として名高い宮沢賢治が命名した「イギリス海岸」が位置している。

本研究は、北上川・イギリス海岸（以下、イギリス海岸）を対象に、宮沢賢治の作品群（全88作品）を用いて、イギリス海岸の整備コンセプトを引き出すことを目的とする。

2、イギリス海岸の概要

調査対象としたイギリス海岸は、岩手県花巻市の東部、北上川朝日橋上流、猿ヶ石川合流点の西岸に位置する。その姿は白亜紀から第三紀へかけての凝灰岩が波状に侵食され、川岸に細長く露出している。この地は、イギリスのドーバー海峡あたりの第三紀層と似ているところから、宮沢賢治が「イギリス海岸」と命名したものである。当時は随筆的作品「イギリス海岸」の舞台ともなった。

この付近は北上川の蛇行外湾部の影響を受ける水衝部にあたることから、背後の市街地を守るために堤防や河岸の整備が必要である。しかし、宮沢賢治の作品の舞台となった場所であり、その姿の保全、あるいは復元をもとめる要望も多い。

3、調査の方法

これまで当研究室で行なったイギリス海岸のデルファイ調査をとおして得られたキーワード群（68ワード）を用い、言語記述による制限連想調査を行うものである。

制限連想調査は、昼の景観と夜の景観に対する2つを行なった。被験者は、これまでと同様の岩手県在住の宮沢賢治学会の会員 450人（調査方法・郵便調査法、調査期間11月3日～11月25日、有効回答151票、有効率33.6%）と、日頃イギリス海岸と接する機会の多い花巻市民 400人（調査方法・留置調査法、調査期間12月1日～12月26日、有効回答180票、有効率45.0%）に分けた。

4、分析の手法

制限連想法において、連想を一種の状態の推移と考えると、連想の課程をマルコフ課程とみることができる。刺激語からの連想確率を行列化するとマルコフ課程における連想確率行列が得られるが、この行列は正則であるのでエルゴートのマルコフ連鎖となり、必ず固有ベクトルを持つことになる。この固

有ベクトルを制限連想用語の想起パターンを反映した特性値と考えイメージウエイトとする。クラスター分析をふまえた連想因果図とこのイメージウエイトを考慮した連想階層図を比較考察し、整備テーマを決定する。

5、まとめ

制限連想法の結果から連想因果図と連想階層図（図-1、図-2、図-3、図-4）を描きだした。この解析をとおして導きだされたイギリス海岸のイメージは次のとおりになる。

（1）連想因果図の結果から制限連想調査に用いたキーワード群を3つのグループに分けることができた。この3つのグループのそれぞれに [lithosphere（岩圏）]、[atmosphere（大気圏）]、[exosphere（外気圏）] と名付けた。

（2）イメージフローの分析結果から学会員の昼と市民の昼を比較すると、「くるみ」「第三紀・地質」「泥岩」「風」「霧」の想起は、市民より学会員の方が集中している。

（3）イメージフローの分析結果から学会員の夜と市民の夜を比較すると、「宇宙」の想起は、市民より学会員の方が集中している。

（4）学会員と市民の昼の階層図のイメージウエイトを比較すると、「くるみの化石」「イギリス海岸」「悠久」のイメージウエイトは、市民より学会員の方が高い。

（5）学会員と市民の夜の階層図のイメージウエイトを比較すると、「銀河鉄道の夜」「時の流れ」「川の流れ」「北上川」「悠久」のイメージウエイトは市民より学会員の方が高い。以上のイメージフロー、イメージウエイトによってあげられた要素は、設計の際に重要視しなければならない要素である。

（6）クラスター分析、イメージフロー、イメージウエイトの3つの分析結果を総合的に比較検討した結果、昼は [lithosphere] と [atmosphere] に、夜は [atmosphere] と [exosphere] に分けることができる。

以上の分析結果をふまえて、イギリス海岸の昼の整備テーマを「ロマン」、夜の整備テーマを「祈り」とし、したがって、イギリス海岸の整備テーマを『ロマンと祈りの岸辺』と決定した。

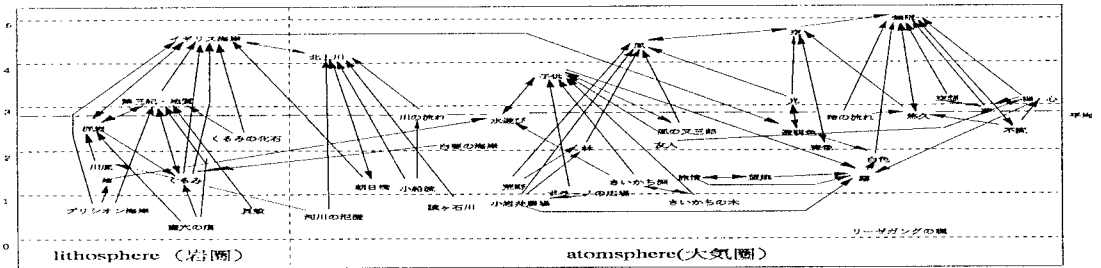


図-1 連想階層図・学会員・昼

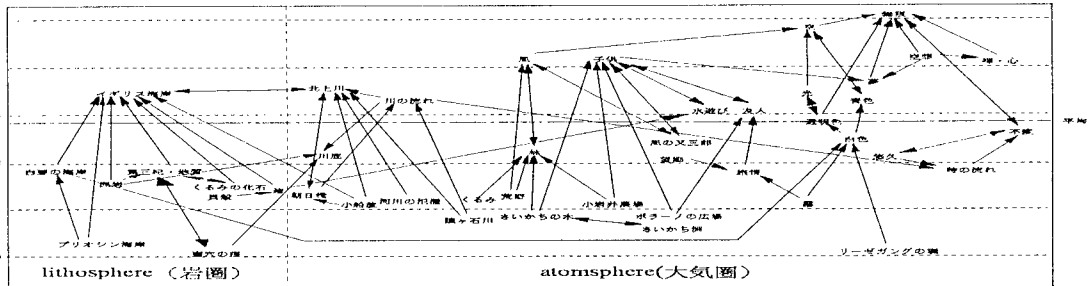


図-2 連想階層図・花巻市民・昼

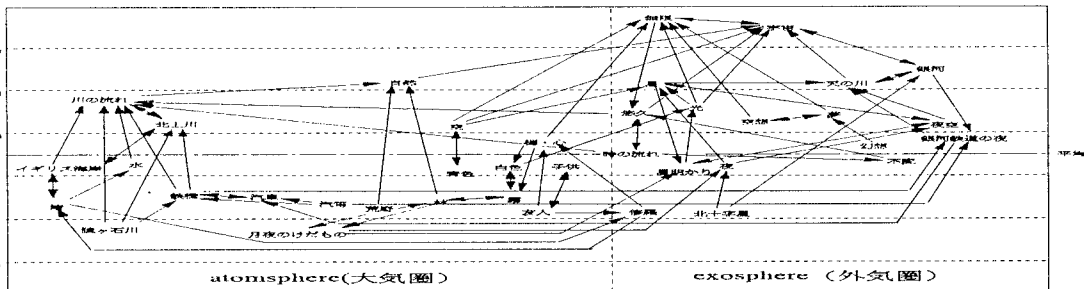


図-3 連想階層図・学会員・夜

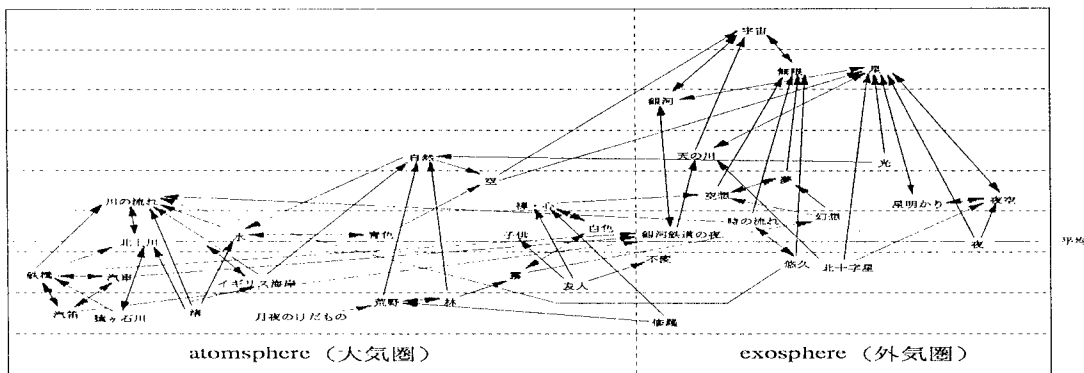


図-4 連想階層図・花巻市民・夜

あとがき

最後に本研究の遂行にあたって、会員名簿の提供、データの收拾にご協力いただいた、宮沢賢治学会イーハトーブセンター事務局の牛崎敏哉氏ならびに、宮沢賢治学会員の方々、花巻市民の方々に深く感謝する次第である。なお、宮沢賢治学会名簿については研究のためということで、宮沢賢治学会イーハトーブセンター事務局の了解を得て使用させていただきました。

- 参考文献 1) 堀田治、文学作品を利用した地域計画手法に関する基礎的研究、京都大学修士論文
2) 安藤昭 赤谷隆一 千田徹也、北土川のイギリス海岸のイメージ解析
3) 安藤昭 赤谷隆一 戸村道子 五十嵐日出男、城下町起源の都市盛岡の風土分析